

## 報告事項 「高滝ダムの堆砂」について

- ダム概要
- 堆砂状況
- 堆砂対策

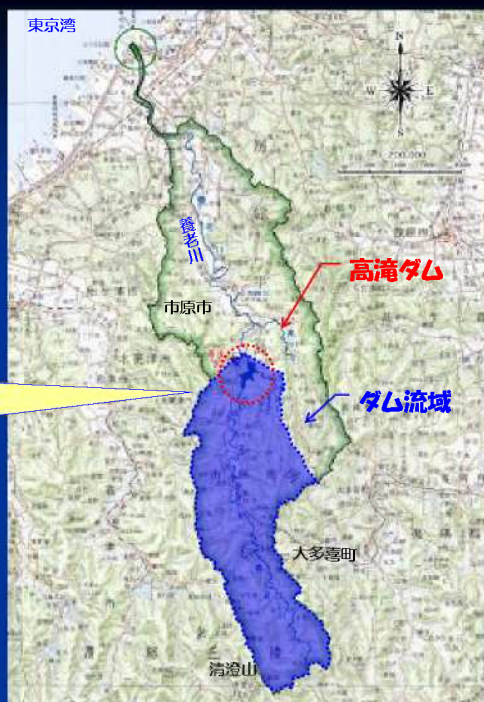


### § 1 高滝ダムの概要

## ダムの位置

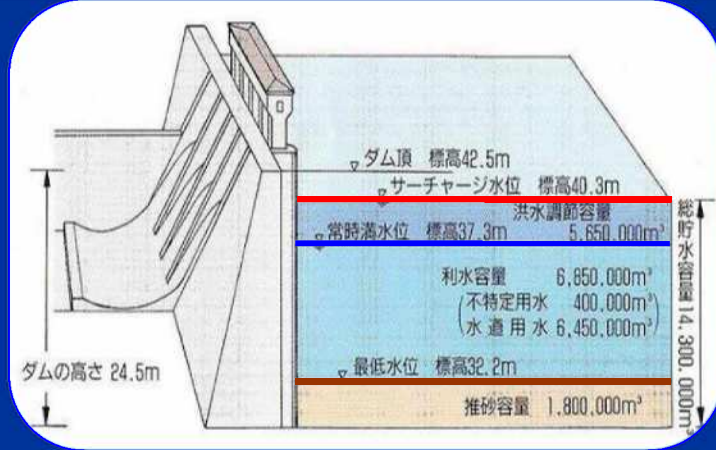
高滝ダムは…

- 養老川のほぼ中央に位置
- ダム流域面積107.1km<sup>2</sup>  
(養老川全体の4割強)
- 湛水面積1.99km<sup>2</sup>



## ダムの目的

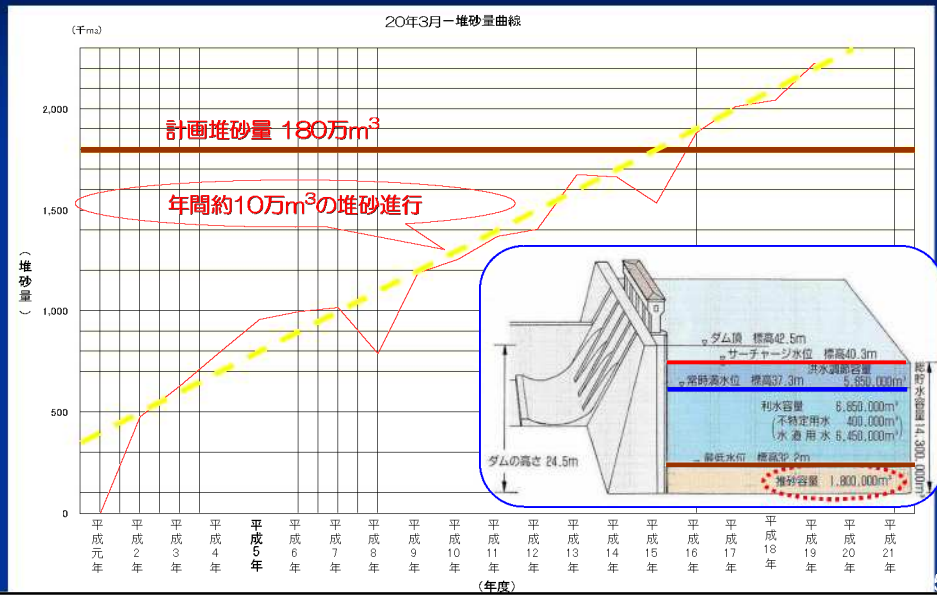
- ・洪水調節……………計画高水流量1,110m<sup>3</sup>/sのうち280m<sup>3</sup>/sを調節。  
(ダム地点)
- ・新規水道用水の開発……………県営水道 1.1m<sup>3</sup>/s(95,000m<sup>3</sup>/日)  
市原市営水道 0.5m<sup>3</sup>/s(43,200m<sup>3</sup>/日)
- ・流水の正常な機能の維持



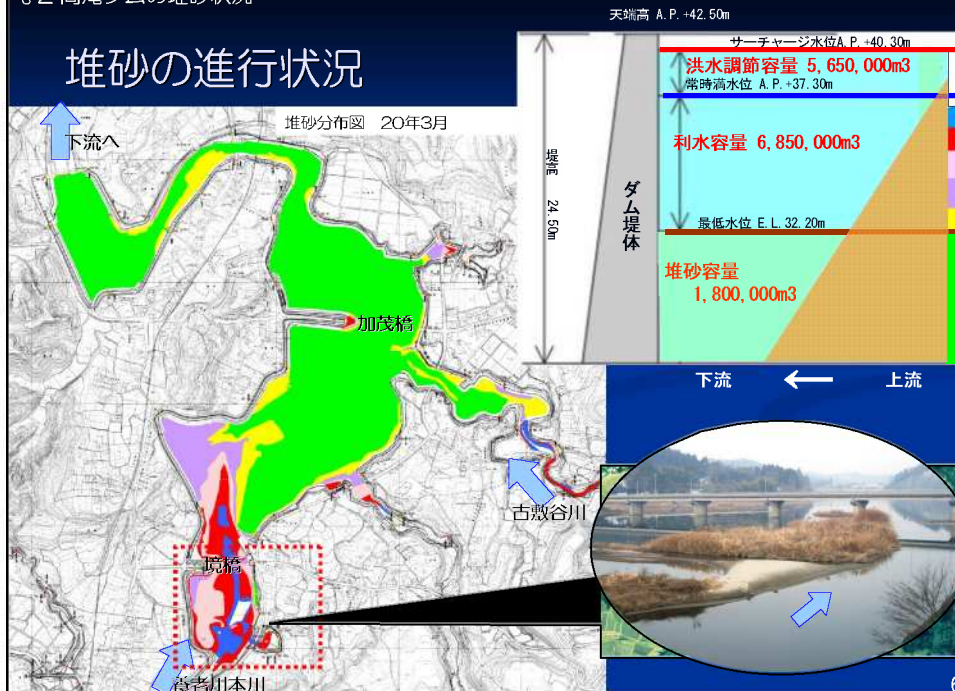
## 上空から見た高滝ダム



## 堆砂の進行状況



## 堆砂の進行状況



## 現在、実施している堆砂対策



7

## 今後の堆砂対策

- ① 堆積土掘削による直接的な土砂排除・・・引き続き実施。
  - 貯砂ダム、貯水池内堆砂箇所での掘削を継続的に実施。
- ② 流入土砂の抑制（土砂発生源対策）
  - 河川管理者、治山事業者などとの連携に向け、調査・検討中。
- ③ 流入土砂の下流への排出
  - 下流（ダムから河口まで）への影響量を調査・検討中。

高滝ダムの堆砂対策は上記①、②、③の組み合わせ。

8



## 養老川の土砂管理計画の策定 に向けて

- ・永続的に養老川を維持管理するには、養老川の土砂堆積の実態を把握し、土砂管理計画を策定することが不可欠。
- ・今年度から、ダム下流の調査・検討を開始。

